



~ 13
3815
2



門へ13
 號8815
 卷2

五柳帳

芳虎画

下巻



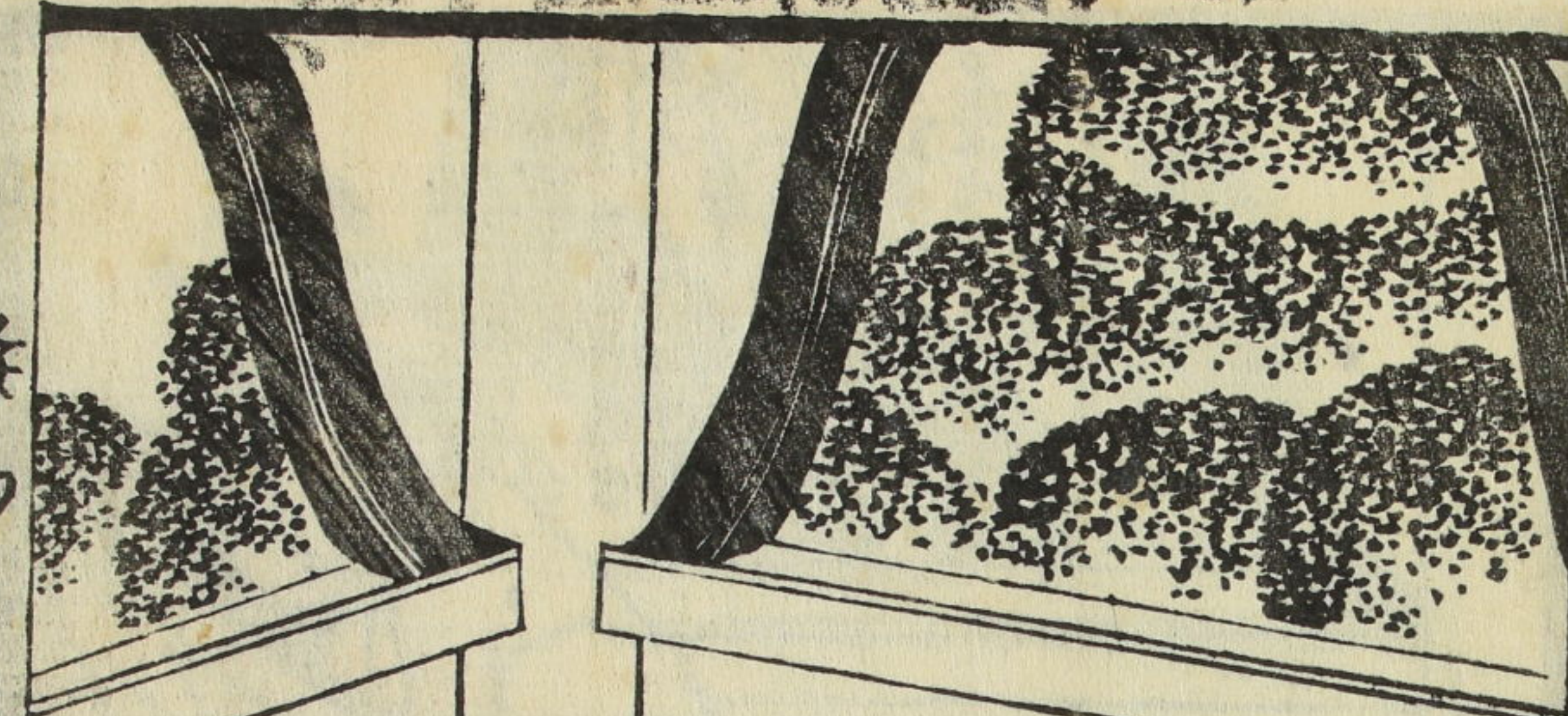
後切

上の巻あり
 下の巻あり
 舟の舟
 の舟あり
 舟あり

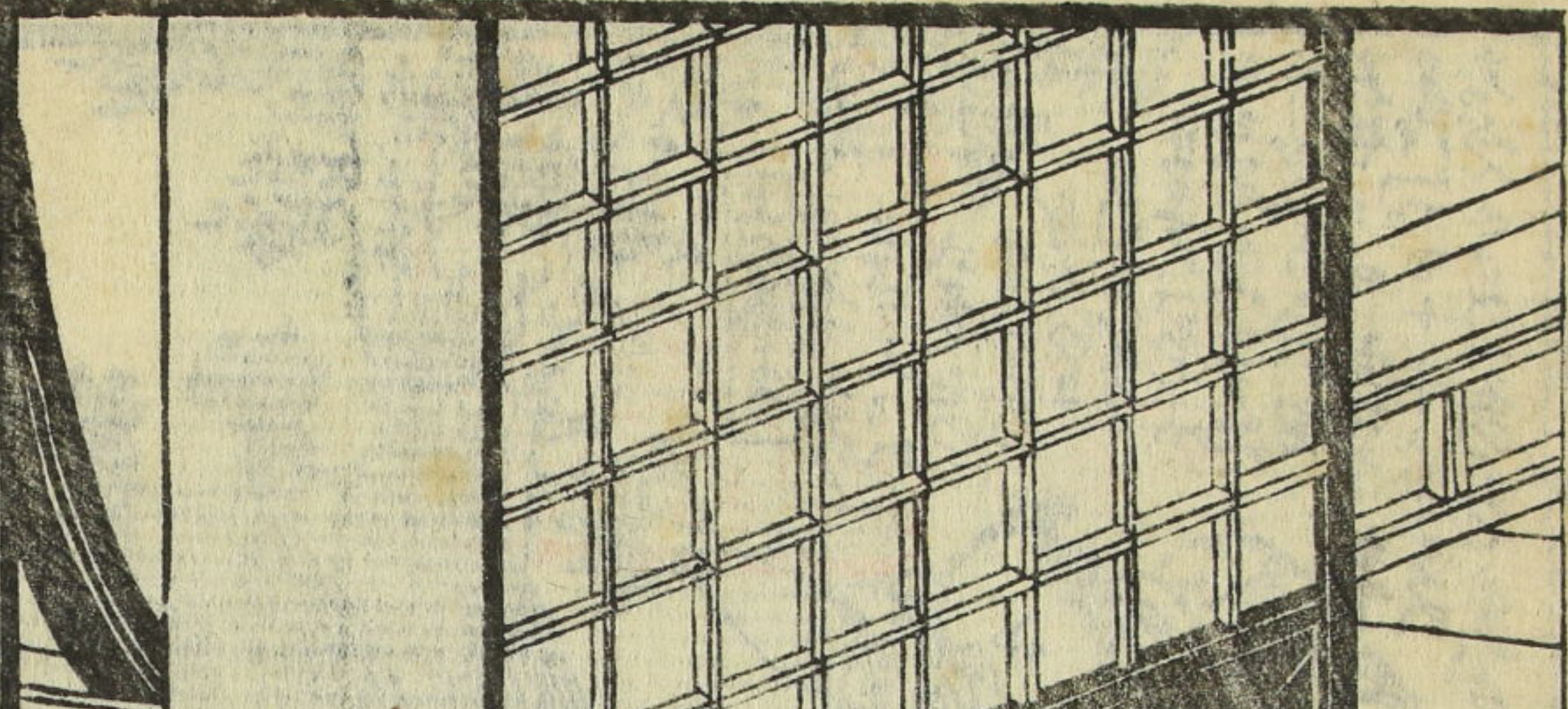
舟の舟あり
 舟あり

舟あり
 舟あり
 舟あり

次へ



そのうちあらうか
大抵の味うのうと
あひだもたてある
のうと
あひだもたてある
あひだもたてある



そのうちあらうか
大抵の味うのうと
あひだもたてある
のうと
あひだもたてある
あひだもたてある



一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、



一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、



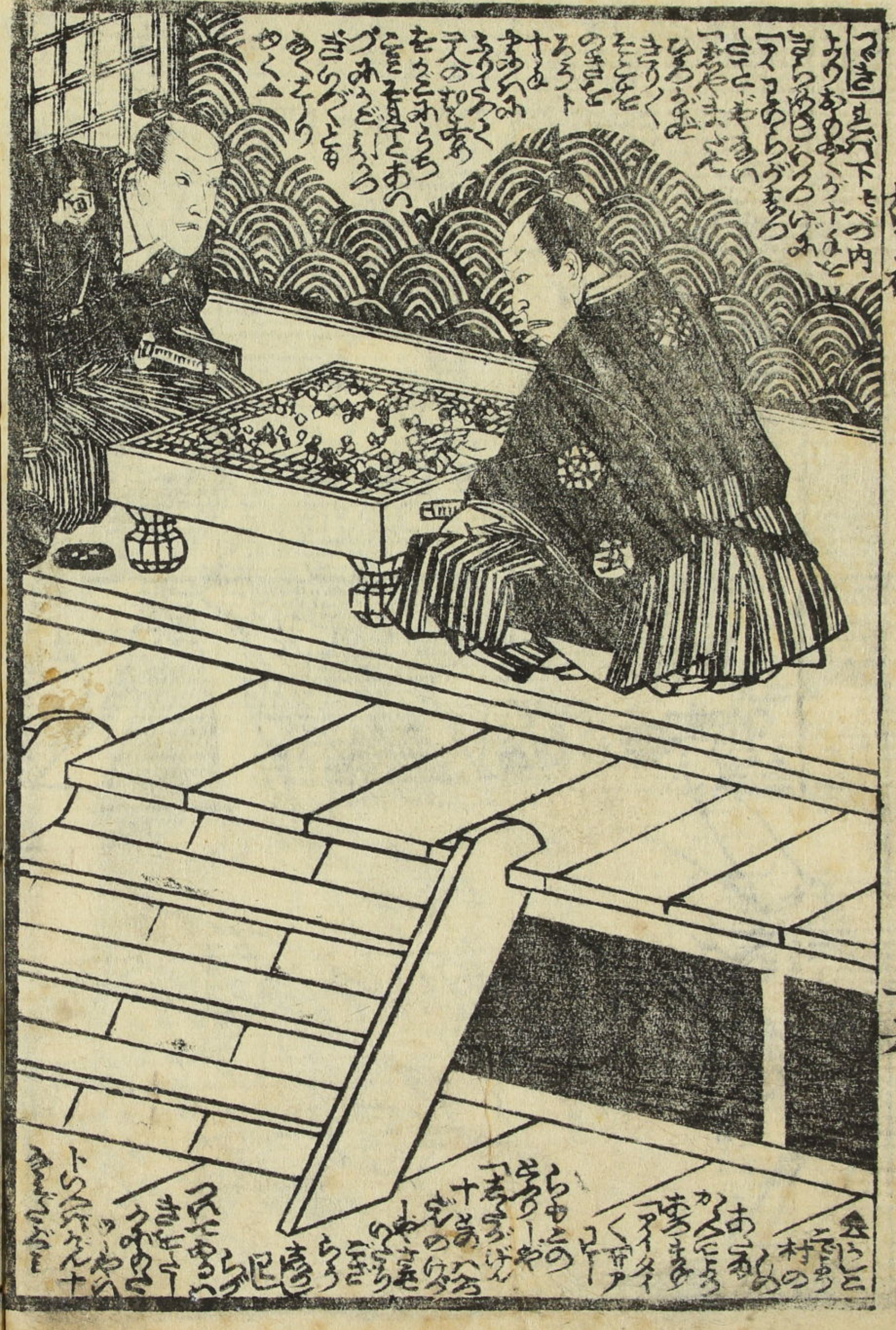
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、



下巻
 十巻
 八巻
 七巻
 六巻
 五巻
 四巻
 三巻
 二巻
 一巻
 八巻
 七巻
 六巻
 五巻
 四巻
 三巻
 二巻
 一巻



並木場
 中日
 八巻
 七巻
 六巻
 五巻
 四巻
 三巻
 二巻
 一巻
 八巻
 七巻
 六巻
 五巻
 四巻
 三巻
 二巻
 一巻





木下

此の如き者
は世に少く
見ゆれば
其の尊厳
を知るべし
と云ふ事
は其の理
の明かす
所なり

此の如き者
は世に少く
見ゆれば
其の尊厳
を知るべし
と云ふ事
は其の理
の明かす
所なり

その昔
あるに
あるに
あるに

世に
あるに
あるに
あるに



木下

此の如き者
は世に少く
見ゆれば
其の尊厳
を知るべし
と云ふ事
は其の理
の明かす
所なり

此の如き者
は世に少く
見ゆれば
其の尊厳
を知るべし
と云ふ事
は其の理
の明かす
所なり

世に
あるに
あるに
あるに

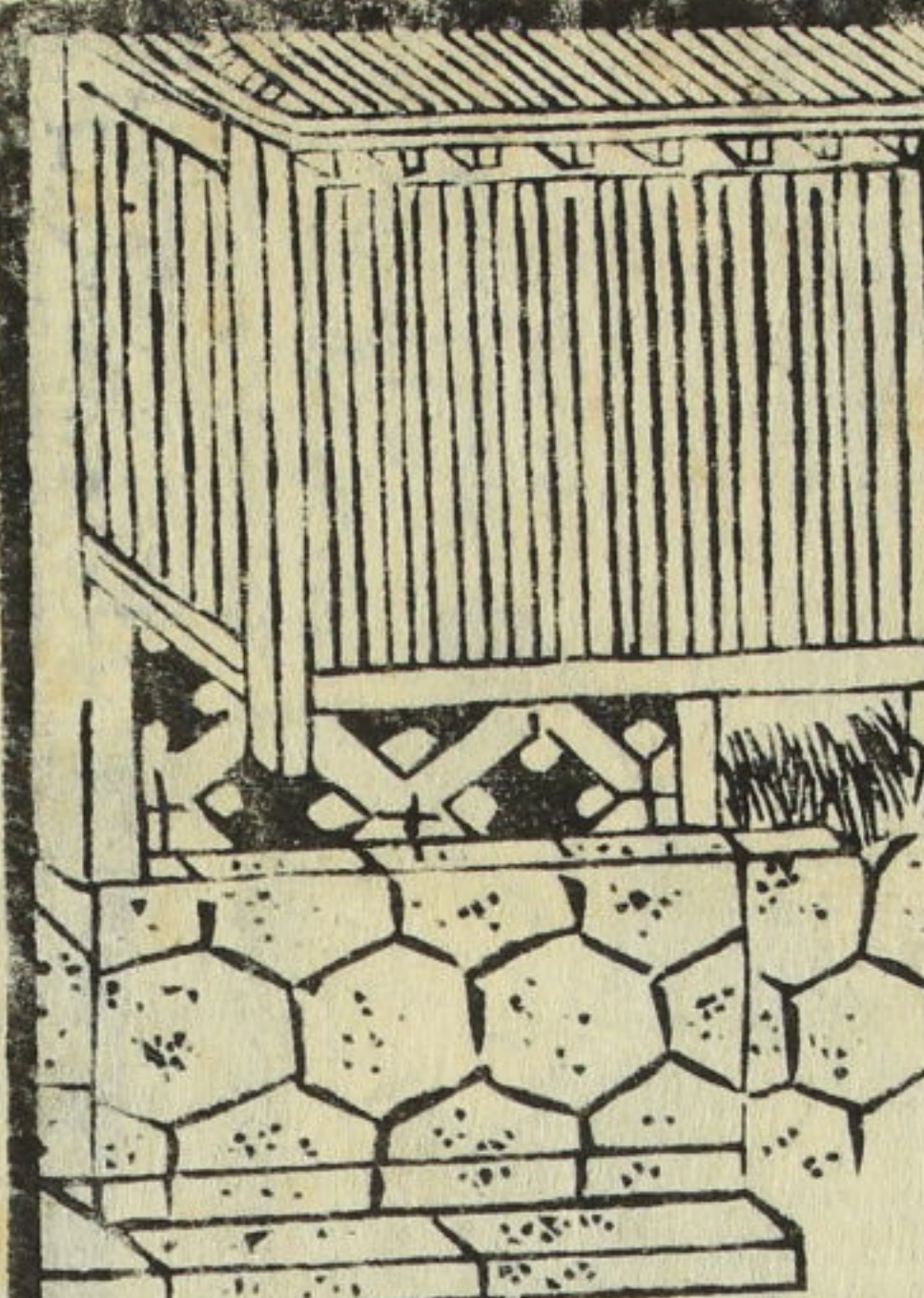
世に
あるに
あるに
あるに

十七

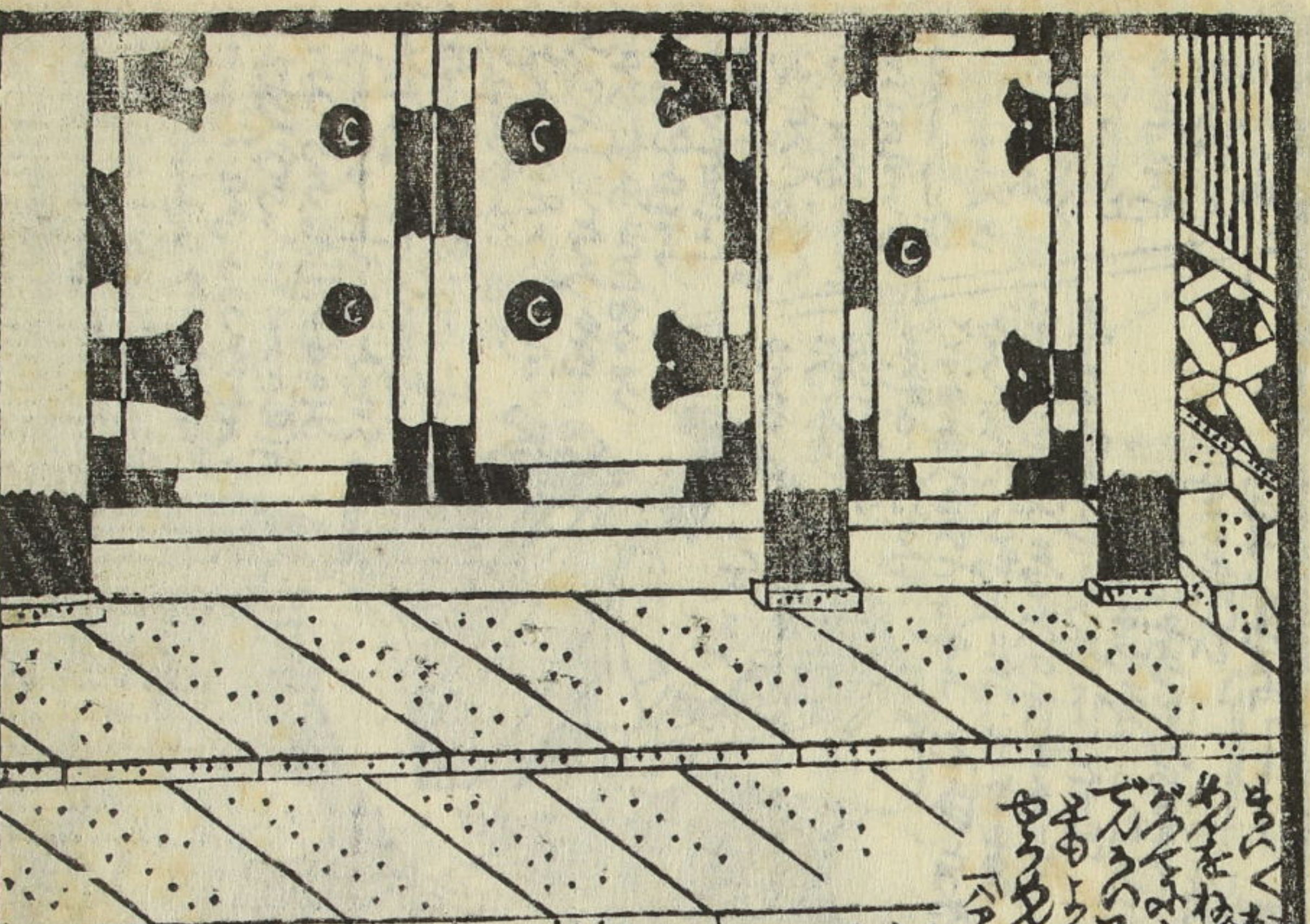
代官屋
敷の場

新
夜

つぎ
公平次と名を西人の名を
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
公平次と名を西人の名を
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
公平次と名を西人の名を
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは

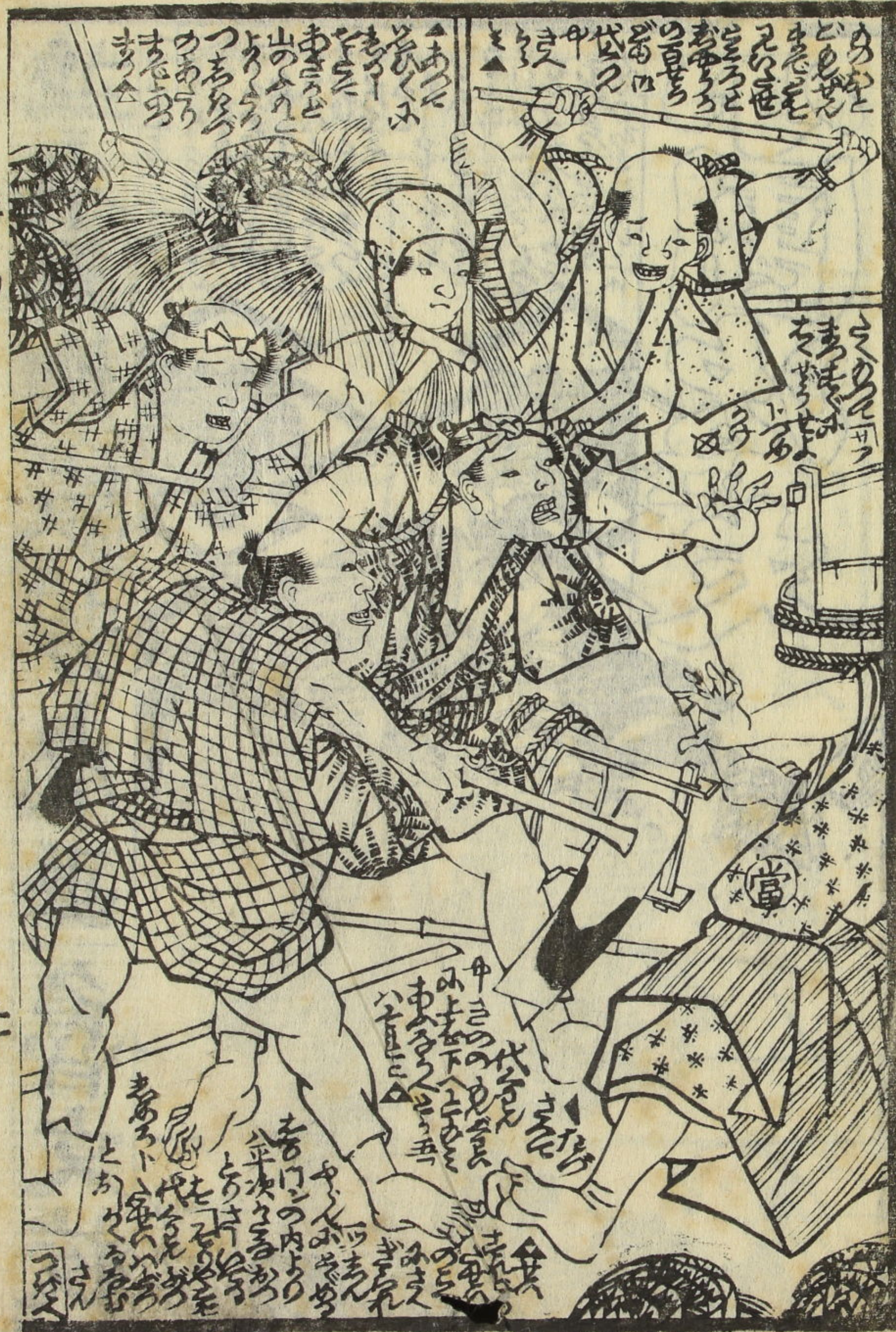


公平次と名を西人の名を
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
公平次と名を西人の名を
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
公平次と名を西人の名を
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは



公平次と名を西人の名を
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
公平次と名を西人の名を
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
公平次と名を西人の名を
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは
おぼやかしむるがせは





女
口

二十

梅
松

十九

用水

文久二年壬戌春開板目錄

<p>御所櫻梅松錄 四編 秀賀作 五編 國貞画 六編 國貞画</p>	<p>御所 奉公 日記 主編 應賀作 主編 芳虎画</p>	<p>教草女房形氣 三編 秀賀作 三編 國貞画</p>	<p>花裘狐草紙 初編ヨリ 假名垣魚日文作 三編マテ 錦朝樓芳虎画 當年出版</p>
<p>萬國人物圖繪 二編 魯文作 三編 芳虎画</p>	<p>童繪解萬國噺 四編 魯文作 五編 芳虎画</p>	<p>櫻莊子後目文談 初編ヨリ 五柳綴 引續 魯文作 出版 芳虎画</p>	<p>此の神史ハ狐狸の善惡を人情世態に巧み編者ガ一時の戯墨と人の當其條 一々本據とあり且今様の流行をのりらちし奇々妙々案 かるるを求め御覽のほど偏よ移ひたてまつる</p>

在 地本問屋 錦橋堂 山田屋庄次郎板

南傳馬町二丁目



